

“絆”きずな

事業所リレーエッセイ パートII 気仙沼

東日本大震災以降、「地元である気仙沼で何か出来ることはないか」という思いを持ち続けており、今年度入職しました。7年間回復期病院に勤め、1年間訪問リハを経験しました。在宅での生活を想定しながら退院に向け関わってきた回復期病棟とは違い、在宅生活の中で如何に利用者さんの生きがいを見出して関わっていくか、ご家族や周囲の方々の想いや考えを踏まえた中でどのようなサービスをチームとして提供していくかを日々、考えています。また、資源が少ないために、満身にサービスを受けられない方々が多数いる気仙沼の現状を知り、何とかしなくては行けないという想いが強くあります。気仙沼の医療職、ケアマネージャー等、多職種の方々の熱意と連携する力に感銘を受け、自分も地域に貢献していけるよう日々励んでいきたいと思っております。

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団
気仙沼訪問リハビリステーション 理学療法士

小山 真

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介③ 広島県編

島根県との県境にある三次市の人口は約5万3千人です。各種療法士の所属する法人や会社は少なく、所属している療法士の顔はほぼわかる状態にあります。そのため、訪問リハビリテーション事業所に所属する療法士もそれぞれを知っています。このような状況下にあるため、所属する事業所だけで最善策を検討するだけでなく、他事業所の様々な分野の対応に強い療法士にも相談し、共に考える流れが見え始めています。また多職種で効果的なケアを行う為に、他法人の通所リハビリテーション・短期入所等にも実際に出向き一緒に取り組める環境にある事も自慢できると思っております。

今後、療法士に求められる役割は多岐にわたる事を踏まえても、地域で求められる訪問リハビリテーションを目指し更に三次市の療法士間の絆を大切にしていきたいと考えています。

広島県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士
(介護予防)訪問リハビリテーションピレネ

高本 晃司

訪問リハビリテーションフォーラム2017 パートII開催のお知らせ

平成30年の介護報酬改定の動向を踏まえながら、「今、介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働に関して再考する」をテーマに訪問リハビリテーションフォーラム2017パートIIを開催します。特別講演では埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究所兼 研究開発センター教授 川越雅弘氏をお招きし「地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働」をご講演いただきます。また、シンポジウムでは「地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員とリハビリテーション専門職との協働の実態」を訪問リハビリテーションの介入時期別に考えていきたいと思います。

会場：ホテルニューカリーナ（岩手県盛岡市菜園2-3-7 電話：019-625-2222）

対象者：介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

参加費：各主催者協会の会員無料・非会員1,000円

※介護支援専門員の参加者には受付にて参加証明書を配布します。

定員は先着300名（※定員に達し次第受付を終了いたします。）

インターネットでの申し込み：右記のQRコードまたは、

下記のURLから申し込みフォームにて入力を行ってください。

<https://docs.google.com/forms/d/1JKNnVz9wCbe8p84c001QSzaL05LrZmxFi8pOavFDsuk/edit>



《お知らせ》

★平成29年度 第2回 訪問リハ地域ブロック連絡会議を開催致します。

日時：平成30年2月26日(月) 18時～20時

形態：ウェブ会議

参加者：各エリア代表者、訪問リハ振興委員会、訪問リハ振興財団 研修班・組織化班

内容：平成30年 医療・介護保険制度同時改定に向けた最新トピックス

平成30年度 訪問リハ実務者研修会の開催要件